



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年7月31日

上場会社名 日東電工株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 6988 URL <http://www.nitto.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 柳楽 幸雄
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 塩路 信也 TEL 06-6452-2101
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	158,321	1.2	16,359	△21.6	15,436	△25.4	10,938	△17.5
24年3月期第1四半期	156,487	△3.4	20,876	△15.8	20,691	△17.4	13,264	△22.8

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 3,908百万円 (△64.5%) 24年3月期第1四半期 11,022百万円 (30.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	66.50	66.40
24年3月期第1四半期	80.67	80.48

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	651,816	431,633	65.9
24年3月期	651,908	435,935	66.5

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 429,309百万円 24年3月期 433,541百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	-	50.00	-	50.00	100.00
25年3月期	-	-	-	-	-
25年3月期(予想)	-	50.00	-	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	327,000	3.9	35,000	△3.5	35,000	△4.5	24,700	10.8	150.19
通期	660,000	8.6	71,000	25.7	71,000	21.5	50,000	60.9	304.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	173,758,428株	24年3月期	173,758,428株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	9,242,365株	24年3月期	9,283,365株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	164,490,730株	24年3月期1Q	164,424,208株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 重要な後発事象	10
(7) その他の注記事項	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における経済環境は、欧州における政府債務問題や中国など新興国経済の伸び悩みにより減速感が強まりました。日本では、震災からの復興需要やエコカー補助金などの政策効果により緩やかな回復基調にありましたが、先行きに不透明感のある状況が続いています。

このような経済環境のもと、日東電工グループでは前年度の「挑む年」から、今年度を市場で勝ち、競合に勝ち、自らに「克つ年」として対応を開始しました。スマートフォン（多機能携帯電話）やタブレットPCなど需要が旺盛な市場に向けオプトロニクスやインダストリアルテープの製品を順調に拡販しました。また、自動車生産台数も米国の堅調な需要や日本のエコカー補助金効果により回復しました。これにより、売上高は堅調な推移となりました。一方、利益面では、平成23年度（2011年度）の液晶テレビの価格下落が激しく、当社もその影響を受けましたが、顧客との協業による新しいビジネスモデル（ロールトゥパネル生産方式）の導入やスマートフォンやタブレットPC等の成長領域に注力することで、利益確保に努めています。

以上の結果、売上高は前第1四半期と比較し1.2%増（以下の比較はこれに同じ）の158,321百万円に、営業利益は21.6%減の16,359百万円となりました。経常利益は、25.4%減の15,436百万円、四半期純利益は17.5%減の10,938百万円となりました。

セグメント別の業績概況

① インダストリアルテープ

自動車業界向けは、生産台数の回復に伴い順調に推移しました。エレクトロニクス業界向けは、両面粘着テープやシーリング材料がスマートフォンやタブレットPCの市場成長に加え、採用される製品数も拡大したことにより、好調に推移しました。一方、電子部品向け粘着テープは、震災後特需の反動も大きく、当第1四半期において回復が見られたものの、緩やかなものでした。また、工業用途全般に使用される汎用性の高い両面粘着テープ、保護材料やフッ素樹脂製品は、全体的に堅調に推移しました。

以上の結果、売上高は62,613百万円、営業利益は3,771百万円となりました。

② オプトロニクス

情報機能材料は、テレビ向けが緩やかな回復基調にあったことと、スマートフォンやタブレットPC向けが継続した拡大傾向にあったことなどから、全体として堅調に推移しました。半導体用材料は、デジタルカメラなどの民生機器の需要低迷により回復が道半ばとなりました。プリント回路は、期の後半からHDD（ハード・ディスク・ドライブ）市場が減速したため影響を受けました。プロセス材料は、主にスマートフォンやタブレットPCで使用される半導体製造工程用テープが好調に推移しましたが、テープ貼り合せ装置などの需要が低調でした。

以上の結果、売上高は94,266百万円、営業利益は12,538百万円となりました。

③ メディカル&メンブレン

メディカル（医療関連材料）は、医薬品である経皮吸収型テープ製剤の震災後の製品補充が一巡したことに加え、薬価改定による買い控えの影響を受けたため低調に推移しました。メンブレン（高分子分離膜）は、中東やインドなど新興国向け一般工業用需要が堅調に推移したことに加えて、過去に受注した海外向け海水淡水化案件の出荷も重なり、全体としては順調に推移しました。

以上の結果、売上高は8,236百万円、営業損失は59百万円となりました。

(参考) セグメント別の状況

(単位：百万円 比率：%)

		前第1四半期	当第1四半期	
		自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	売上高	前年 同期比
			売上高	
イン ダ ス ト リ ア テ ル ー プ	基盤機能材料	59,503	62,613	5.2
	営業利益	3,367	3,771	12.0
オ ブ ト ロ ニ ク ス	情報機能材料	77,349	76,857	△0.6
	半導体用材料	3,446	2,966	△13.9
	プリント回路	11,925	11,371	△4.6
	プロセス材料	3,414	3,071	△10.1
	計	96,135	94,266	△1.9
	営業利益	16,772	12,538	△25.2
メ デ & イ メ カ ン ル ブ レ ン	メディカル	4,499	3,423	△23.9
	メンブレン	4,357	4,813	10.5
	計	8,857	8,236	△7.0
	営業利益	△384	△59	—
全 社 ・ 消 去	売上高	△8,009	△6,795	—
	営業利益	1,121	109	△90.2
合 計	売上高	156,487	158,321	1.2
	営業利益	20,876	16,359	△21.6

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の財政状態は以下のとおりであります。

前連結会計年度末に比べ総資産は91百万円減少し、651,816百万円となりました。また、純資産は4,301百万円減少し、431,633百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の66.5%から65.9%になりました。

主な増減は資産の部では、現金及び預金が14,918百万円減少、受取手形及び売掛金が6,292百万円増加、原材料及び貯蔵品が1,596百万円増加、固定資産が6,913百万円増加しました。負債の部では、支払手形及び買掛金が3,999百万円増加、短期借入金が1,469百万円増加、未払法人税等が1,058百万円減少しました。

(参考) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
	自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	7,410	12,002
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,388	△15,597
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,261	△8,205
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△934	△2,961
V 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△11,173	△14,762
VI 現金及び現金同等物の期首残高	148,289	145,712
VII 連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	1,006
VIII 現金及び現金同等物の四半期末残高	137,115	131,956

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年4月27日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	209,855	194,937
受取手形及び売掛金	126,840	133,133
商品及び製品	20,152	20,468
仕掛品	33,355	34,358
原材料及び貯蔵品	14,037	15,634
その他	19,287	18,153
貸倒引当金	△541	△702
流動資産合計	422,989	415,983
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	198,808	202,057
機械装置及び運搬具	338,555	342,337
工具、器具及び備品	37,907	38,405
土地	19,053	19,563
建設仮勘定	15,842	15,214
減価償却累計額	△420,091	△422,991
有形固定資産合計	190,074	194,586
無形固定資産		
無形固定資産合計	8,955	12,855
投資その他の資産		
その他	30,096	28,591
貸倒引当金	△207	△200
投資その他の資産合計	29,889	28,390
固定資産合計	228,919	235,833
資産合計	651,908	651,816

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	78,730	82,729
短期借入金	2,978	4,448
未払法人税等	3,507	2,448
役員賞与引当金	284	102
その他	52,987	52,886
流動負債合計	138,487	142,615
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	6,000	6,000
退職給付引当金	18,994	19,003
役員退職慰労引当金	394	348
その他	2,097	2,216
固定負債合計	77,486	77,567
負債合計	215,973	220,182
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,783	26,783
資本剰余金	56,160	56,153
利益剰余金	412,784	415,498
自己株式	△33,655	△33,506
株主資本合計	462,073	464,929
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,178	951
繰延ヘッジ損益	△661	166
為替換算調整勘定	△29,049	△36,738
その他の包括利益累計額合計	△28,532	△35,619
新株予約権	963	866
少数株主持分	1,430	1,457
純資産合計	435,935	431,633
負債純資産合計	651,908	651,816

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	156,487	158,321
売上原価	108,054	112,314
売上総利益	48,433	46,007
販売費及び一般管理費	27,556	29,647
営業利益	20,876	16,359
営業外収益		
受取利息	67	55
受取配当金	69	58
作業屑収入	286	313
雑収入	423	554
営業外収益合計	847	982
営業外費用		
支払利息	233	215
為替差損	354	1,005
雑損失	445	684
営業外費用合計	1,033	1,905
経常利益	20,691	15,436
特別利益		
固定資産売却益	3	26
特許関連収入	—	450
その他	0	—
特別利益合計	4	476
特別損失		
固定資産売却損	5	20
固定資産除却損	206	476
減損損失	52	—
特別退職金	10	40
その他	35	55
特別損失合計	310	593
税金等調整前四半期純利益	20,385	15,318
法人税等	7,059	4,274
少数株主損益調整前四半期純利益	13,325	11,044
少数株主利益	61	106
四半期純利益	13,264	10,938

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	13,325	11,044
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△65	△226
繰延ヘッジ損益	148	828
為替換算調整勘定	△2,332	△7,554
持分法適用会社に対する持分相当額	△53	△183
その他の包括利益合計	△2,303	△7,135
四半期包括利益	11,022	3,908
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,961	3,850
少数株主に係る四半期包括利益	61	57

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

（単位：百万円）

	インダストリアルテープ	オプトロニクス	メディカル&メンブレン	合計	調整額(注)	四半期連結損益計算書計上額
売上高						
外部顧客への売上高	59,074	88,476	8,548	156,099	388	156,487
セグメント間の内部売上高又は振替高	428	7,659	309	8,397	△8,397	—
計	59,503	96,135	8,857	164,496	△8,009	156,487
セグメント利益（営業利益）	3,367	16,772	△384	19,755	1,121	20,876

(注) セグメント利益の調整額 1,121百万円には、セグメント間取引消去による 73百万円、その他 1,047百万円が含まれております。

(各セグメントの主要製品)

事業区分	主要製品
インダストリアルテープ	接合材料、表面保護材料、シーリング材料、包装材料・機器、エンブラ部材
オプトロニクス	情報機能材料、半導体用材料、プリント回路、プロセス材料
メディカル&メンブレン	医療関連材料、高分子分離膜

当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

（単位：百万円）

	インダスト リアル テープ	オプトロ ニクス	メディカル & メンブレン	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	62,141	88,001	7,889	158,032	289	158,321
セグメント間の内部売上高 又は振替高	472	6,265	347	7,085	△7,085	—
計	62,613	94,266	8,236	165,117	△6,795	158,321
セグメント利益（営業利益）	3,771	12,538	△59	16,250	109	16,359

(注) セグメント利益の調整額 109百万円には、セグメント間取引消去による 51百万円、その他 57百万円が含まれております。

(各セグメントの主要製品)

事業区分	主要製品
インダストリアルテープ	接合材料、表面保護材料、シーリング材料、包装材料・機器、エンブラ部材
オプトロニクス	情報機能材料、半導体用材料、プリント回路、プロセス材料
メディカル&メンブレン	医療関連材料、高分子分離膜

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

(7) その他の注記事項

(企業結合等関係)

第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

取得による企業結合

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称

Bento Bantcilik ve Temizlik Maddeleri Sanayi Ticaret

Bento Pazarlama ve Ticaret

事業の内容

工業用テープ及び衛生用関連製品の製造、販売

衛生用関連製品の販売

(2) 企業結合を行った主な理由

- ① トルコにおける生産体制の確立によるコスト競争力とスピード対応力の強化
- ② 欧州、および中近東や北アフリカなどの新興国市場でのテープ事業の売上拡大

(3) 企業結合日

平成24年6月4日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

Bento Bantcilik ve Temizlik Maddeleri Sanayi Ticaret
Bento Pazarlama ve Ticaret

(6) 取得した議決権比率

企業結合日直前に所有していた議決権比率	0.0%
企業結合日に追加取得した議決権比率	100.0%
取得後の議決権比率	100.0%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社の連結子会社であるNITTO EUROPE NVが現金を対価とした株式取得により、議決権の100.0%を保有したことによるものです。

2. 四半期連結財務諸表に含まれる被取得企業の業績の期間

平成24年6月4日から平成24年6月30日まで

3. 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価

80百万ユーロ

取得に直接要した費用

—

取得原価

80百万ユーロ

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん

82百万トルコリラ

なお、発生したのれんは取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(2) 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力

(3) 償却方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却

5. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

Bento Bantcilik ve Temizlik Maddeleri Sanayi Ticaret

流動資産 82百万トルコリラ

固定資産 71

資産合計 154

流動負債 50

固定負債 4

負債合計 54

Bento Pazarlama ve Ticaret

流動資産 23百万トルコリラ

流動負債 20